

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城野区文化センター
2	指定管理者	(公財) 仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 H27 82,519人 H28 91,695人 (前年度比111.1%) H29 88,712人 (前年度比96.7%) 《利用件数》 H27 4,244件 H28 4,226件 (前年度比99.6%) H29 4,219件 (前年度比99.8%)
		《事業》 コンサートホール・シアターホール (区分貸し) リハーサル室・スタジオ・音楽練習室1・2 (時間貸し) 有料駐車場
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 174,817千円 (169,469千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 3,598千円 (1,634千円) 《収入》 ・ 使用料収入 51,480千円 (52,845千円) ・ その他収入 2,175千円 (2,039千円) 自動販売機使用料・電気料
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート・ご意見箱により利用者から提起された問題点を抽出し、対応策を講じている。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的を踏まえ基本方針が定められており、職員は施設の目的を十分理解しているとともに、施設目的の達成度も良好である。	S
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況、開館の実績、指定管理料の執行状況、個人情報の保護、情報セキュリティ対策、事故防止対策への取組、事故発生時の対応体制の構築、災害発生時の対応体制の構築については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	S
III	施設・設備の維持管理	建物・設備の管理・安全性の確保・機能保持、備品の管理、清掃業務、警備業務、環境への配慮、外構の保守点検・清掃、植栽・樹木等の維持管理とともに、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	S
IV	サービスの質の向上	職員のマナー、利用しやすい受付案内、適切な情報の提供、利用促進の取組、サービス水準の確保、職員の教育・研修、利用者からの意見・苦情に対する対応については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる	S
V	施設固有の基準	舞台利用の適切かつ十分な技術指導がなされており、技術者の育成に繋がっている。利用者アンケートの結果も良好である。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況	
1	自主事業	単なる貸館業務に留まることなく、良質な音楽の提供や、プロの舞台スタッフワークの体験など、多彩な自主事業を開催しており、利用者から高い評価を得ている。	
2	良好な景観と空間活用	広場の放置自転車対策を継続するとともに、児童館と協働で花を育成しており、良好な景観を維持している。また、季節に応じて館内を飾り付けたり、広場にイルミネーションを設置するなど憩いの空間づくりに努めている。当施設には展示室がないが、使われていないスペースを活用して学生の作品を展示しており、文化振興に寄与した取組を積極的に企画している。	
3	駐車場混雑の改善	駐車場に施設を利用しない方が多数駐車し、施設利用者が使用できなくなることが課題であったが、混雑が見込まれる日の誘導を強化するとともに、施設一体となった公共交通機関利用の啓発活動を行うことで改善を図っている。	
加点評価			S

四 評価総括

《指定管理者（（公財）仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

(1) 施設の運営について

仙台市市区文化センター条例等を遵守しつつ、仙台市市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、公平・公正な取り扱いを行いました。使用料は厳重に取り扱い、適正な収納処理を行いました。また、関係スタッフが一丸となり、親切丁寧な対応を心掛け、お客様に気持ち良くご利用いただけるように努めました。

お客様へのサービス向上として様々な取り組みを行いました。特筆すべき点は次の3点です。

まずセンターの有料駐車場は収容台数が約80台と限りがあり、ホールが2つあることや複合施設であることも影響して、土日祝日や時間帯によっては、入庫待ちの車で道路が渋滞する等、大変混み合っています。乳幼児連れの親子や高齢者等、駐車場を必要としている方々に、安全にご利用いただくために、使用申込みや事前打合せの際に、公共交通機関を利用して来館していただくように各施設が統一して案内するとともに、混雑が予想される場合には、専門の交通整理員を委託し、お客様や歩行者の安全管理に努めました。さらに有料駐車場から文化センターへ横断歩道を渡っていただけるように案内板を設置しました。

センターと宮城野区役所との間の「区民広場」ではお弁当を食べたり、乳幼児親子がひと休みしたり、子どもたちが遊んだりする憩いの場となっています。この区民広場がこれまで以上に市民の憩いの場として活用してもらえるよう、放置自転車を撤去してベンチやプランターを新たに設置し、プランターには原町児童館の子どもたちとともに看板を作り、花を植え、水やりを行うなど、地域の子もたちと花を育てています。さらに夏の夜にはイルミネーションを施すなど、広場の雰囲気づくりも行いました。今後は新たな賑わいづくりのため、区役所と連携しながら事業の充実を図り、地域の皆様に愛される憩いの場づくりに努めました。

昨年度に引き続き館内のサインの見直しを図りました。センターには隣同士で2つのホールがあることから、バックヤードや楽屋周りなどのホール内のサインを色分けすることでホールの主催者やお客様が迷わずスムーズにご利用できるように整備しました。

(2) 維持管理・安全管理について

お客様が安心安全に施設を利用できるよう、日頃から施設の見回りや設備の点検を行い、問題がある個所については速やかに小破修繕を行いました。

職員自らが定期的に施設の清掃や近隣町内のごみ拾い、除雪、除草作業を行い、施設の状況把握と地域の環境美化に積極的に取り組みました。

環境へ配慮した取り組みとしては、併設施設の職員と協力しつつ、施設利用者に対してもゴミの持ち帰りを呼びかけながら、ごみの減量とリサイクル向上を目指しました。

併設施設の職員及び委託業者を含め、災害や事故などの緊急事態に相互に連携しながら適切に対応できるよう消防訓練及び普通救急救命講習を共同で実施しました。

(3) 自主事業について

平成25年度から始まったワンコインコンサートは平成30年3月で25回目を数えました。参加者は60歳以上が8割を占め、地域に出向ききっかけや友人との交流を深める場所の一つとされています。

室内楽シリーズMusic from PaToNaは4年目にはいりました。年4回の室内楽公演と関連事業（オープンゼミナールや管楽器ワンポイントクリニックなど）は引き続き実施しました。また、ソニーが運営するハイレゾ配信サイト「mora」と提携して、今年度は2回の演奏会の楽曲をハイレゾ配信しました。（平成29年度で録音は終了。）

また、区民や地域の方々に「せんくら」のPRと、クラシックを含めた文化芸術の普及と区民の交流促進を図るため、仙台市市民文化事業団と共催で「せんくら」のイベントである「街なかコンサート」を初めて開催しました。

ワークショップは演劇、写真の2種類を実施しました。写真ワークショップは魅力ある地域づくりの一助となることを目的に宮城県仙台第三高等学校の写真部の生徒たちが、プロ写真家のアドバイスのもと、地元の風景や人物、登下校でみる景色などを写真に収め、展示を行いました。

演劇ワークショップは中学生から70代までの幅広い年齢層が参加しており、普段は出会うことができない人たちとつながり、世代間交流を図ることができました。特に今年度は、10代や20代の参加者が増えたことが特徴的でした。演劇を通して、コミュニケーション形成や自己発見できたことは参加者に好評でした。その後、当館と10-BOXが共催で開催している人材育成事業「舞台スタッフラボ」と連携し、参加者による創作劇「こしかたゆくすえ」を上演しました。舞台発表の機会を提供して、ワークショップの成果を活かす取り組みに発展することができました。

開館当初から開催している震災復興交流事業は、今年度も複合施設の強みを生かし、多彩な内容で3日間行いました。震災に関連する朗読劇や合唱、防災講座など、震災を振り返りながら、これからの想いを馳せつつ、新たな交流を生み出す契機となりました。東日本大震災で大きな被害を受けた宮城野区の文化施設として、この事業を継続することの大切さを感じました。さらに昨年度に整備した区民広場の活用を目的として宮城野区まちづくり推進課と共催で「MIYAGINO CAFE」を開催し、区民広場の活性化に努めました。

フリースペース活用プロジェクト「空間のアトリエ事業」では、2階廊下の壁面を「夢ギャラリー」として、宮城県宮城野高等学校美術科の生徒の絵画作品を展示しました。これからも未来を担う子どもたちの文化芸術活動を発表する場を提供し、応援してまいりたいと思います。

今後も施設の特性を有効活用した事業を展開して、気軽に文化芸術を親しむ機会を創出し、地域文化の振興と向上ならびに地域コミュニティの活性化に努めてまいります。そして、文化の創造、発信、交流の拠点となり得るよう、地域の皆様の活動を幅広くサポートしていただける施設を目指します。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

アンケート結果は例年良好であるが、現状に満足することなく、より一層利用者の意見を抽出するためにアンケートの様式・収集方法を見直し、高い向上心をもってサービス向上に努めている。

今回のアンケート結果も利用者の満足度が高く、日頃の努力の成果が見て取れたが、改善の余地がある意見も一部見受けられたため、さらなるサービス向上に繋げていただきたい。

施設管理においては、施設内を季節に応じた飾り付けをすることで来館者を楽しませるとともに、広場の継続的な放置自転車対策、児童館と協働しての花植え等、良好な景観の維持に努めており、大いに評価できる。

また、コンサートホール用の諸室とシアターホール用の諸室が判別しにくかったため、サインの色によって視覚的に区別がつくように工夫しており、利用者目線に立った改善に努めている。

文化の発信拠点として、コンサートやワークショップ、震災復興自主事業など様々な行事を自ら企画し、地域住民、学校、児童館などと良好な関係を築きつつ事業を展開している点についても大いに評価できる。

以上のほか、ヒアリング、現地調査等の結果より、市民協働事業により策定された「宮城野区文化センター物語」を基本とし、施設の設置者が求める要求水準を十分に満たしているといえる。

S